

聖籠町総合計画審議会 第1部会（安心安全＋産業・観光）

第4回議事要旨

日 時	令和7年11月12日（水） 14時00分～16時00分
場 所	聖籠町役場2階 第1会議室
出席委員	鈴木委員（部会長）、入山委員、手嶋委員、荒木委員、中村委員
事務局	佐藤ふるさと整備課参事、天野農業委員会事務局次長、大沼産業観光課長補佐、吉田生活環境課長補佐、東港振興室 小林係長
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 第1章「Ⅰ 地域特性を活かしたまちづくり」</p> <p>(2) 第1章「Ⅱ 自然環境との共生」</p> <p>(3) 第1章「Ⅲ 生活環境の整備」</p> <p>(4) 第2章「Ⅰ 安心して暮らせる環境づくり」</p> <p>(5) 第4章「Ⅰ 農業・水産業の持続性確保に向けた生産基盤の強化」</p> <p>(6) 第4章「Ⅱ 地域資源を活かした魅力あふれる観光」</p> <p>(7) 第4章「Ⅲ 地域の未来をけん引する商工業」</p> <p>3 閉 会</p>
要 旨 (検討内容)	<p><u>議事(1)～(6)</u></p> <p>○事務局から第1章「Ⅰ 地域特性を活かしたまちづくり」～第1章「Ⅲ 生活環境の整備」、第2章「Ⅰ 安心して暮らせる環境づくり」及び第4章「Ⅰ 農業・水産業の持続性確保に向けた生産基盤の強化」～「Ⅲ 地域の未来をけん引する商工業」で前回から変更となった箇所を中心に説明</p> <p>(説明者：佐藤ふるさと整備課参事、天野農業委員会事務局次長、吉田生活環境課長補佐、大沼産業観光課長補佐、東港振興室 小林係長)</p> <p>～説明後の検討意見と町回答～</p> <p>○第2章【Ⅰ 安心して暮らせる環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫の設置数の10個所というのは、新規に1個所作るのか、それとも既存施設を利用するのか。 →既存施設を活用しながら、今後も防災倉庫としての機能を有した避難所も増やしていきたい。当面の目標として1施設の増とした。 ・防災リーダーはこれから育てるのか。 →昨年から防災リーダーを育成し、昨年度9名の登録、今年度9名の申請があった。 ・どんな人がしているか。また、氏名は公表しているのか。 →区長へ依頼して集落から推薦してもらおう。氏名は広報せいろうで公表している。 ・空き家活用件数の目標値20件は少なくないか。 →1割程度の増を検討し、12/4の審議会で修正案をお示しする。

要 旨
(検討内容)

- ・町では移住定住の補助金はあるのか。引越した際に補助金をもらった。
→ある。また、住宅の改修ということであれば暮らし応援事業補助金もある。
- ・熊被害はこの章に含まれるのか。
→病虫害駆除に含まれるが、本計画では農産物の被害がメインとなっており、今後の取り扱いによる。
- ・熊被害の話は第2部会に出ているのか。また、連携しているのか。
→第2部会の話は現時点では把握していないが、何かあれば連携することになる。
- ・防犯カメラの指標は稼働日数でなく、設置数がいいのではないか。
→第2部会からの報告を受けての変更となっている。なお、年次計画で全設置数 27 箇所を達成したので指標を変更している。

○その他

(第3回部会時の確認事項について)

町の犯罪内訳件数は警察から提供できないとのことで事務局から説明
⇒(委員)了承した。

- ・買い物と交通のアンケート結果が低い。10代、子育て世代、高齢者における満足度が低い。学生の通学におけるダイヤはどのようになっているのか。
→通学、下校時の苦情はない。現在のダイヤ策定についてもアンケートを実施し、下校時やJRの時刻にあわせたバスダイヤを組んでいるため、否定的な意見は出ていない。
- ・弥彦村のように無人バスを運行してみてもどうか。
→弥彦村に確認したところ、システム導入(国補助あり)やシステムに対応した車両購入費(村単費)、維持費がかなりかかるということであった。経費の面から今すぐに事業化は難しい。

○次回の審議会について

- ・次回は12月4日(木)に開催予定。
- ・各部会の報告の冒頭で部会長のコメント(検討内容の概要等)をお願いしたい。

以上